

# 新庁舎整備に向けた取組みについて

固総務課 ☎内線222



## これまでの経緯

町役場本庁舎は築53年が経過し、耐震性不足や老朽化といった課題を抱えています。課題解決に向け、現地建替の方向で、令和5年3月に「新庁舎整備基本計画」を策定しました。基本計画では、新庁舎を地上2階・4階、地下1階の建物としました。また、津波の防護壁を兼ねた立体駐車場を整備し、総工費は44.4億円、財源は本庁舎建設基金の14億円、残りの30.4億円は町負担としていました。その後、「基本計画」のうち、津波対策や財源確保策などの見直しを行い、新庁舎整備を進めています。

### 1. 基本計画からの見直し（令和6年度当初予算）

地下1階と防護壁兼立体駐車場を取止め、**総工費を32.5億円に削減**しました。  
整備にあたり、国の地方交付税が措置されるようにすることで、**町負担は3.1億円**となりました。

### 2. 見直しからの変更（令和6年度9月補正予算）

基本計画からの見直し後、物価や人件費の高騰、今年の4月から建設業に適用されることになった労働基準法の改正に伴う休日確保による工期の延伸など、今年に入って社会情勢が大きく変化しました。

そこで市場調査を行ったところ「基本計画からの見直し」を変更する必要があると判明し、さらなる見直しを行いました。



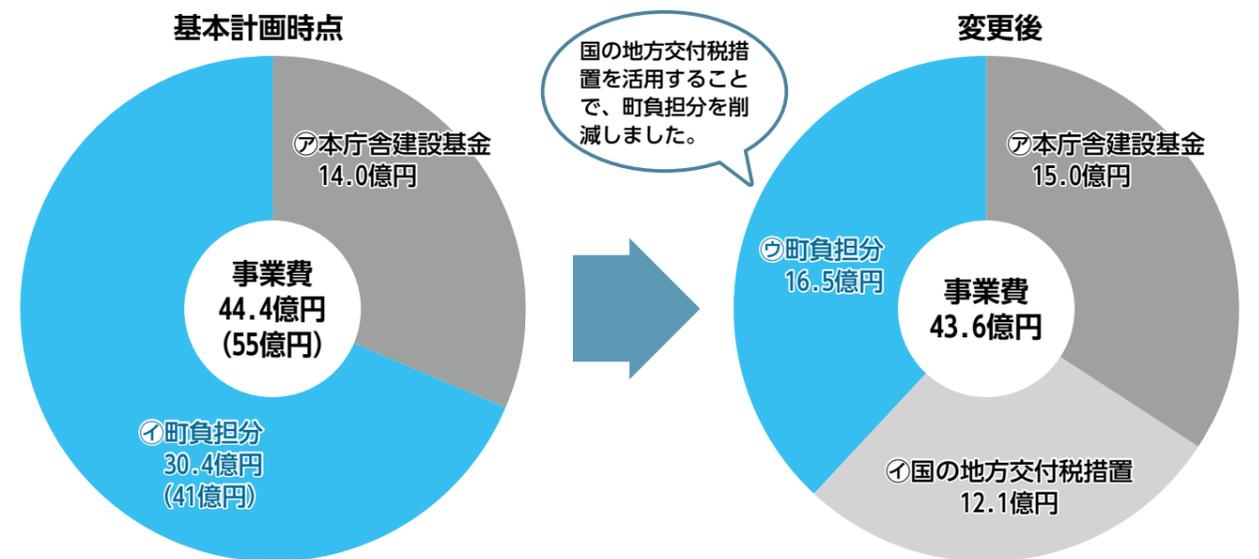
★ 令和8年3月の完成予定を、**令和10年5月に変更**

★ **総工費43.6億円**（地方交付税措置により、**町負担16.5億円**）

★ 庁舎内の環境改善や出先施設から本庁舎への移転を検討し、**延床面積を5,500㎡に変更**

	基本計画	見直し (令和6年度当初予算)	変更後 (令和6年度9月補正予算)
① 整備面積	5,000㎡	5,000㎡	5,500㎡
② 建物構成	地上2階・4階 地下1階	地上2階・4階 地下無し	地上2階・4階 地下無し
③ 津波対策	防護壁で受止め	行政機能を2階以上へ	行政機能を2階以上へ
④ 事業範囲	㊦設計・監理 ①新庁舎本体工事 ②解体工事 ③立体駐車場整備	㊦設計・監理 ①新庁舎本体工事 ②解体工事	㊦設計・監理 ①新庁舎本体工事 ②解体工事 ④平面駐車場整備
⑤ 事業手法	従来方式 (設計・工事別発注)	デザインビルド方式 (設計施工一括発注)	デザインビルド方式 (設計施工一括発注)
⑥ 事業費	44.4億円	32.5億円	43.6億円

## 財源（町負担分）の比較



※（ ）内の数字は、基本計画時点から現時点までの物価上昇を反映した場合の価格です。

このグラフは、財源内訳について、基本計画時点と変更後（令和6年度9月補正予算）を比較したものです。本庁舎建設基金は、平成12年から積み立ててきたもので、令和6年4月時点で約14億円になります。これを、令和6年度9月補正予算で1億円を積み増して、約15億円とします。

また、緊急防災・減災事業債、防災対策債といった国の交付税措置が受けられる地方債を活用することで、町負担分を30.4億円（現時点では41億円相当）から16.5億円に削減しています。

## 整備スケジュール（予定）

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
今後の予定		アドバイザー業務					
			基本・実施設計				
				新庁舎整備工事			
						引越	解体
							外構・駐車場

現在、アドバイザー業務という、設計と工事を一括で行う（デザインビルド方式）発注の準備を進めています。

令和7年4月に設計に着手  
令和10年5月に新庁舎の完成  
令和12年1月頃に全体事業終了 を目指して整備を進めます。

令和8年の中頃から工事開始の予定です。（工事中は現庁舎駐車場が使用できなくなります。）